

七草粥について



新年あけまして おめでとうございます



今回は、正月疲れが出始めた胃腸をいたわる七草粥についてお伝えします。

七草粥とは…



人日の節句（1月7日）の朝に食べられている季節の行事食です。早春にいち早く芽吹く七草は邪気を払うとされ、七草粥を食べることで1年の無病息災を祈るようになったようです。七草とは「セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ・ホトケノザ・スズナ・スズシロ」のことを指します。

セリ

「食べると競り勝つことが出来る」という縁起物。



ナズナ

「撫でて穢れ（けがれ）を取り除く」とされ、別名はペンペン草です。



ゴギョウ

御形（ごぎょう）とは「仏様のからだ」という意味もある縁起物。



ハコベラ

繁縷（はこべら）は「繁」という感じから「子孫繁栄」の願いが込められています。



ホトケノザ

仏様が座る「安座」に似ていることから縁起が良いとされています。



スズナ

「鈴」という字が入っていることから「神様を呼ぶ鈴」という由来があり、別名はかぶです。



スズシロ

その白さから「純白」というイメージがあり、縁起の良い野菜とされており、別名は大根。



2024 新年号



九十九園だより

社会福祉法人 幸生福祉会 九十九園 〒610-0343 京都府京田辺市大住池平99番地1 TEL.0774-63-0804 FAX.0774-62-7534

ごあいさつ

「素直な心は 幸福への近道」

あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になり、ありがとうございました。本年もさらなるサービスの向上に向け、気持ちを新たに取組んでまいりますので、本年も宜しくお願い申し上げます。元旦にはかかせない物と言えばおせち料理ですが、お重にざっしりと並べられた色鮮やかな食材には、家族の幸せ願って一つひとつに意味が込められています。蒲鉾は日の出を象徴するもの。伊達巻は大事なものは巻くべしからの伝わり、黒豆は丈夫・健康を意味する言葉。栗きんとんは勝ち栗と言って縁起物として尊ばれ、昆布は喜ぶの言葉にかけた縁起物。数の子は子宝や子孫繁栄を祈る際に食べられるようです。子供の頃は苦手だった物も、今となっては美味しく頂けるようになり、おせち料理を前にすれば、「一年経つのが本当に早いなあ」としみじみ感じます。新年を迎え、日々幸せな人生が送れるように、素直な心を念頭に役割を果たして参りたいと存じます。

施設長 大本 顕

「九十九園だより」は下記アドレスのホームページでもご覧いただけます。

<http://www.tsukumo-en.or.jp>